

もっとしりたいたい!

いのちブックリスト②

いのちのこと

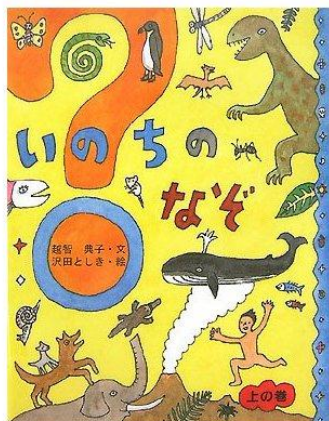
いのちは どこにあるの?

いのちは どこからきたの?

大切ないのちについて、本を通して ^{とお} 考えてみませんか。

小学4年生～

おすすめ



『いのちのなぞ』上の巻

越智 典子／文 沢田 としき／絵 朔北社 (460 才)

あなたのいのちは、どこからきたの? どうして魚は、水の中でも息が苦しくならないの? ^{しんか} 進化って、なあに? いのちの疑問に ^{ぎもん} やさしくわかりやすく べたえます。

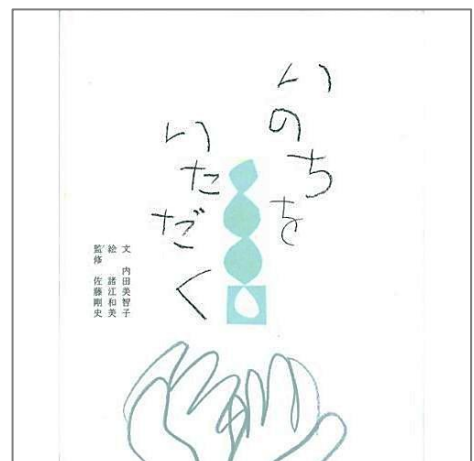
下の巻は、わたしとはなにか、食べること、生まれて死ぬことについて かかれています。

『いのちをいただく』

内田 美智子／文 佐藤 剛史／監修

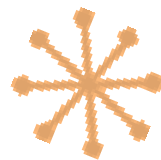
西日本新聞社 (648 才)

生きることは食べること。人が生きるということは、いのちをいただくこと、^{ころ} 殺すこと。小学3年生の ^{しのぶくん} のお父さんは、^{しよくにくか こう} 食肉加工センターではたらいている。食べるお肉を作るって、どんなしごと なんだろう。いのちの ^{い み} 意味を かんがえる。

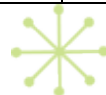




あたらしいいのち



タイトル	ちよしゃめい しゅっぱんしゃ 著者名・出版社	ぶんるい 分類
赤ちゃんが生まれる 幼年版 赤ちゃんは、どうやって生まれてくるの？お母さんのおなかの中では何が おこっているの？受精から出産までを わかりやすくおしえてくれる本。	コリス・タヴェルニエ/さく 杉本 充弘/かんしゅう ブロンズ新社	491 タ
みんなあかちゃんだった かっこいいサッカー選手も、大きなおすもうさんも、みんなみんな赤ちゃんだった。 お母さんのおなかから生まれてきた、赤ちゃんだったんだよ。	鈴木 まもる/作 小峰書店	ちしき絵本 49 ス
たねのはなし かしこくておしゃれでふしぎな、ちいさないのち 形や大きさはちがうけれど、どのたねも知恵やくふうにあふれた、小さいの ち。たねのふしぎがいっぱい、かがく絵本。	ダイアナ・アストン/文 シルビア・ロング/絵 ほるぷ出版	ちしき絵本 47 □
こちらたまご応答ねがいます 小学 6 年生の卓に、ある日とつぜん聞こえてきた ふしぎな声。それは、お 母さんのおなかの中の 受精卵からの交信だった！	岸 信子/作 本間 弘子/絵 ポプラ社	913 キ



生きていて、どんなこと？



タイトル	ちよしゃめい しゅっぱんしゃ 著者名・出版社	ぶんるい 分類
いのちのおはなし いのちって、なんでしょう？—生きていくということです。では、生きていて って、どういうこと？いのちは、どこにある？	日野原 重明/文 村上 康成/絵 講談社	ちしき絵本 49 ム
明日もいっしょにおきようね 捨て猫、でかおのはなし ナリコさんが保健所で出会ったのは、大きなオス猫のでかお。でかおの命を すくいたくても、「処分日」はどんどん近づいてくる。本当にあったおはなし。	穴澤 賢/文 竹脇 麻衣/絵 草思社	645 ア
海のいのち めぐり漁師の父は幼い太一を残し海で命をおとした。成長した太 一が海で見つけたものとは。海の豊かさ、命の奥深さを描いた絵本。	立松 和平/作 伊勢 英子/絵 ポプラ社	にほんえほん 日本絵本イ
絵ときゾウの時間とネズミの時間 ゾウの心ぞうはゆっくり、ネズミの心ぞうは速く動く。ゾウの一生は長く、ネズミ の一生は短い。けれど実は、同じだけ生きていくんだ。いのちってふしぎ。	本川 達雄/文 あべ 弘士/絵 福音館書店	481 モ
生きもの元気 死にももの狂い いろいろな生きものたちの、強く壮絶な生きるための知恵やふしぎがいっぱ いつまった本。生きること、こどもをのこすことは、なんて大変なんだろう。	杉浦 範茂/絵 本田 暁/文 偕成社	ちしき絵本 46 ス
ヤクーバとライオン 1・勇気 / 2・信頼 アフリカ奥地の村でのこと。少年は儀式のためにライオンをたおし に行くが、出会ったライオンは傷つき、弱っていた。	ティエリー・デデュール/作 柳田 邦男/訳 講談社	がいこくえほん 外国絵本デ



ぐるぐるめぐる・つながるいのち



タイトル	ちよしゃめい しゅっぱんしゃ 著者名・出版社	ぶんるい 分類
せいめいのれきし 地球上にせいめいがうまれたときからいままでのおはなし 銀河系のたんじょうから現在のひとびとの生活までを、美しい絵とリズムのある文で、たのしくわかりやすく描く。	バージニア・リー・パートン ／文・絵 いしいももこ／訳 岩波書店	ちしき絵本 46バ
ハルばあちゃんの手 うみべの小さな村に生まれたハル。ハルの手をとおして、くらしを育て、愛をはぐくみ、死をみおくる人の一生をつづる。	山中 恒／文 木下 晋／絵 福音館書店	にほんえほん 日本絵本キ
ぼっぺん先生と帰らずの沼 ウスバカゲロウをおいかけるうち、自分がそのカゲロウになってしまったぼっぺん先生。ぐるぐるまわる食物連鎖に まきこまれてしまった先生は・・・。	舟崎 克彦／作 岩波書店	913フ
ぶた にく 生まれるぶた。殺されるぶた。わたしたちが毎日食べているぶた。鹿児島のとんしゃ豚舎で生まれたぶたが、育ち、肉にされるまでの様子を写真でつづる。	大西 暢夫／写真・文 幻冬舎エデュケーション	ちしき絵本 64オ



いのちは どこへいくの？

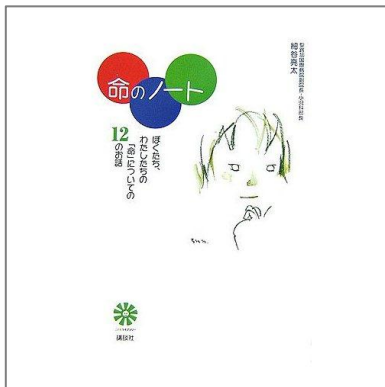
タイトル	ちよしゃめい しゅっぱんしゃ 著者名・出版社	ぶんるい 分類
くまとやまねこ とつぜん、友だちのことりを亡くしてしまったくま。悲しくてとじこもってしまったくまの前に、やがてあらわれる新しい光。	湯本 香樹実／文 酒井 駒子／絵 河出書房新社	にほんえほん 日本絵本サ
さよならエルマおばあさん がんと知らされてから死にむかうおばあさんの1年間。死をみつめ死について話し合うことは、命の大切さ、生の貴重さを認識することなのです。	大塚 敦子／写真・文 小学館	490オ
葉っぱのフレディ いのちの旅 わたしたちはどこから来て、どこへ行くのだろうか。生きるとは。死とは。葉っぱのフレディといっしょに 人生を考えてみませんか？	レオ・バスカーリア／作 島田 光雄／画 童話屋	933バ
夏の庭 -The Friends- 「死んだ人間を見たい」という好奇心をもった12歳の少年たち。死が近いとうわさされる老人を見はるうちに、様々な体験をする。	湯本 香樹実／作 徳間書店	913コ
カラフル 一度死んだ「ぼく」が、人生に再挑戦できることに。だが体を間借りした14歳の真の生活は、家でも学校でも悩みと苦労だらけだった！	森 絵都／著 講談社	913モ
電池が切れるまで 入院しているとつらくて泣いてしまうこともあるけれど、友だちと遊んだり勉強したりするのはとても楽しい！こどもたちの心の声があふれる、詩と物語。	宮本 雅史／作 石井 勉／本文絵 角川学芸出版	378ミ



『命のノート』

ぼくたち、わたしたちの「命」についての12のお話』

細谷 亮太／著 講談社(490ホ)



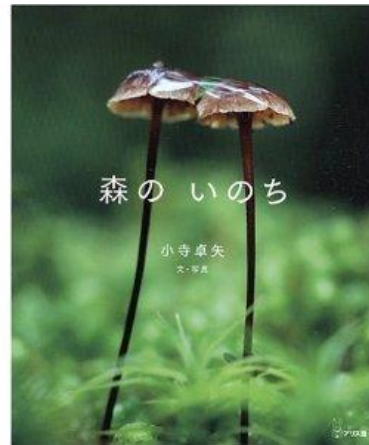
小児科医の目を通して描かれた「命」にまつわる12のお話。「命の重さ」「命の時間」「命の確率」…。重い病気にかかっても 一生懸命生きようとする子どもたちは、だれよりも命の大切さを 知っているのです。

『森のいのち』

小寺 卓矢／文・写真 アリス館(ちしき絵本 65コ)

木々は、たくさんのいのちを守り育ててゆく。そして、その役目を終えた木は、次に生まれてくる生きものたちの、新しいゆりかごになる。

森という大きないのちをつないでゆく、いくつものいのちの息吹を感じられる 写真絵本。



『青空のむこう』

アレックス・シアラー／著 金原 瑞人／訳

求龍堂 (Y933.7シ)



事故で突然死んでしまったハリー。やりのこしたことをするために、家族や友だちに会いに戻るが、ハリーのすがたは みんなからは見えない。かけがえのない生、そして後悔しないように今を生きることの大切さを 気づかせてくれる物語。

